

令和5年度 自己評価

岐阜県関市立関商工高等学校

学校番号 63

I 自己評価

1 学校教育目標	「至誠明朗」の校訓を体し、知・徳・体の調和のとれた創造的 ・人間性豊かな実践力のある地域社会人の育成を図る。																										
2 スクール・ポリシー	『育てたい生徒像』 Graduation・ポリシー (GP)	『生徒をどう育てるか』 Curriculum・ポリシー (CP)	『どんな生徒を待っているか』 Admission・ポリシー (AP)																								
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を図るとともに、専門知識・技術の習得および各種資格取得を目指し、生涯をとおして自己実現を図ることができる生徒 社会性を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる生徒 人間関係の形成や社会ルールなどを日常生活や様々な活動から学び、他者と互いの人格を尊重し合い、豊かな人生を送る姿勢をもつ生徒 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着を目指した教科指導の徹底と、専門性の高い実習および外部との連携による探究的な学びの推進 高校生活のあらゆる場面において「挨拶」「身だしなみ」「礼儀」等の指導による社会性、および豊かなコミュニケーション能力の育成 目標を持ち、切磋琢磨する生徒や、自己実現を目指す生徒に対する共感的理解を持って、粘り強く行う支援の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 目標や向上心を持ち、強い意欲をもって学習と部活動の両立を目指し、日々努力を重ねることが出来る生徒 誠実で主体的な人間性と豊かなコミュニケーション能力を持ち、地域社会で活躍することを目指す生徒 																								
3 評価する領域・分野	工業専門部																										
4 現状・生徒及び保護者等を対象とするアンケートの結果分析等	社会のルールにふさわしい服装、頭髪や基本的なモラルやマナーという点で高評価であり、それが学習環境を良くしていると思われる。だからこそ、熱心に学習指導・生徒指導などに取り組んでいる先生が多いという評価や、課題研究の内容が自分にとって有意義という評価につながっている。																										
5 今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> (1) 工業科出願者数の定員を確保する。 (2) 国家資格等の高度資格取得に取り組む生徒の伸長を図る。 (3) 中学生や地域に工業教育の理解を図る広報活動の展開を図る。 (4) 自ら学ぶ意欲と態度を育む工業科活動の推進を図る。 																										
6 重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> 工業科広報委員会・課題研究委員会・資格取得推進委員会 専門教育委員会・SekishokoCompany 組織委員会・インターシップ推進委員会 																										
7 目標達成のための具体的な取組	8 達成度の判断・判定基準あるいは指標																										
<ul style="list-style-type: none"> (1) 中学校訪問、パンフレットリニューアル (2) 国家資格取得の計画的試験対策 (3) 中学生や地域への広報活動の展開 (4) 自ら学ぶ意欲・態度を育む工業科活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 工業科への出願者数 (2) 国家資格取得者数 (3) 工業科への出願者数 (4) ものづくりコンテスト、各種大会等成績 																										
9 取組状況・実践内容等	10 評価視点	11 評価																									
<ul style="list-style-type: none"> (1) パンプ、総合案内ブック作成、中学校訪問 (2) 後期技能検定七職種を受験 (3) PR フェア (4) 共同学習 (5) ものづくりコンテスト (6) 各科部活動大会出場、地域貢献 	<ul style="list-style-type: none"> (1) 工業各科の認知度、評価 (2) 前期国家技能検定合格率、評価 (3) 動員数および興味・関心度 (4) 共同学習における学習効果 (5) 成績、総合評価 (6) 成績、地域の評価 	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>ⓑ</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td>Ⓐ</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table>		A	ⓑ	C	D	A	ⓑ	C	D	A	ⓑ	C	D	A	ⓑ	C	D	A	ⓑ	C	D	Ⓐ	B	C	D
A	ⓑ	C	D																								
A	ⓑ	C	D																								
A	ⓑ	C	D																								
A	ⓑ	C	D																								
A	ⓑ	C	D																								
Ⓐ	B	C	D																								
12 成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ○工業科広報資料作成 「工業科パンフレット」、「工業科ニュース」、「アーカイブス」 ○関特別支援学校共同学習 建設工学科 藍染め(9年目) ○地域貢献 南ヶ丘小学校出前授業、関市役所との交流として関市のまちづくりプロジェクト、イルミネーション製作 ○各科部活動の活躍 ものづくりコンテスト：木材加工部門、メカトロニクス部門 優秀賞、測量部門 たくみアカデミー校長賞、Econo Power in Gifu 優勝、準優勝 ○サテライトキャンパスの活用、ホームページの有効利用 		総合評価 A ⓑ C D																								
13 来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> ・HPを活用し、工業科ニュースにより、地域や小・中学生に工業科の内容がよくわかる広報をする。 ・ICTを積極的に使用し、指導方法や生徒の学習形態の工夫を更に図る。 ・組織的・計画的なPRの展開の充実を図る。 																										

学校関係者評価

実施年月日 令和6年1月29日

【意見・要望・評価等】

- ・市立学校のメリットやデメリットがあると思うが、商業と工業が同じ学校にあるなどのメリットを伸ばすべきである。
- ・資格試験の受験者が減少しているとの話があったが、受験料が高額であることも一因である。それならば企業から受験料の補助を受けて、生徒の負担を少しでも減らすといった方策も考えられる。